

事務室



今月の主な内容

平成18年度施政方針演述……………2～5
 物産交流館がオープン……………6
 チャレンジデーに参加しよう…8
 下水道施設が稼動を開始……………10～11

お母さんやお父さんに手を引かれやってきた保育園には、お友だちや先生など知らない人や、見たこともないことだらけ。よく遊び、よく食べ、よく休む。少々のことでは物おじしない新入園児らは、間もなく新しい発見を何度も何度もしながら、自分の個性に磨きをかけていくことでしょう。新入園おめでとう。

(写真は、4月4日に行われた町立小軽米保育園の入園式)

協働・連携の体制を構築し 町総合発展計画後期計画を推進

町議会三月定例会が、三月二日から十三日まで開かれました。平成十八年度一般会計当初予算をはじめ平成十八年度の町政の進むべき方向性について、山本賢一町長が行った施政方針演述と、佐藤三四五町教育委員長が行った町教育行政方針演述の概要をお知らせします。



平成18年度の町施政方針を述べる山本町長



12日間にわたり審議が行われた町議会平成18年3月定例会

地方分権に対応した 自立できる行政運営を構築

三位一体の改革は、住民にとって必要な施策を住民が自らの選択できるシステム、すなわち地方自治のあるべき姿を実現する真の地方分権を目指すものであります。

本町でも、この地方分権の理念に基づく「自立できる」行政運営を展開するため、基金残高の減少や経常収支比率の上昇など、厳しい財政状況の中にあつて、第三次軽米町

ける人口が一万一千人を割るなど、少子高齢化に対応した総合的な対策を推進していく必要があります。

昨年は、旧軽米町、小軽米村、晴山村が合併して以来五十周年の記念すべき年を迎え、町内外から多くの方のご出席をいただき、記念式典を開催いたしました。これまでの町の歩みを振り返りつつ、新たな歴史の一步を踏み出したところであります。

本年は、私が町長に就任し四年目となります。今、国・地方ともに、かつて経験した

町総合発展計画を見直し プロジェクトチームで推進

進めてきた軽米町総合発展計画の後期計画が、先頃、軽米町総合開発審議会から答申をいただきましたので、近々、町民の皆様への方向性をお知らせしながら、ご協力をいただきたいと思います。

を考慮し、特に次のことを留

意点と策定の視点として、ご審議いただいたところでございます。

一つは、人口減少と過疎化対策の推進。二つ目は、国・県の高齢化を上回る少子高齢化への積極的な取り組み。三つ目は、長期的に安定的な財政運営ができる財政基盤の確立。四つ目は、地方分権と三位一体の改革の推進による分権型の新しい行政システムの構築。五つ目は、分権型社会に対応した、住民と行政との連携による協働事業の推進など住民自治のあり方の構築。

六つ目は、スローフード、地産地消など「食」の安全への関心の高まりと、伝統文化、地域資源などを生かしたコミュニティビジネスなど内発型の産業育成。七つ目は、農山村地域が持つ癒しと、守り受け継いできた生活の知恵と、生活文化を生かした地域間交流の促進の七点であります。

行政改革による町組織の 新体制が4月からスタート

行政改革につきましては、平成十五年九月に地方分権に対応した効率的な行政運営と「協働・参画の町づくり」を基本とした軽米町行政改革大綱を策定し、取り組んできたところであります。その進捗状況につきましては、町の広報などで周知するとともに、地域懇談会や行政改革調査特別委員会においてもご説明申し上げてきました。

平成十八年度の取り組みについては、行政組織の活性化と業務の平準化を図るため、本年四月から、これまでの九課一室を六課に統合し、関連する業務の統合や総合窓口の

設置など、町民の皆様の利便性の向上と、より充実した行政サービスの提供に努めていくこととしております。

その他、特別職の報酬や職員の給与、各種手当てなど人件費の削減、公共交通の効率的な運行による経費の削減、電話交換業務廃止による委託料、町単独補助金などの節減を図ったところであります。

今後におきまして、定員適正化計画の達成と進化管理に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げるという行政運営の大原則に立ち、効果的かつ着実な取り組みを進めて参ります。

平成18年度的主要施策（施政方針演述から抜粋）

■安全で快適な町づくり

【道路】 町道の整備（民田山線、青沢牛ヶ沢線、呷屋敷線、役場沢線、蛇口道合線、仲軽米山田線、井戸淵線、大平開拓線、戸草内尻高柳線、板橋米田岡堀線、蓮台野橋大町線歩道、松ノ脇下向線、向川原戸草内線、軽小通り線）

【バスの運行】 町民バスの運行とマイクロボスの購入

【町営住宅】 下向川原住宅団地の建替え用地取得、町営住宅の管理

【公共下水道】 第二期認可区域（四十九ヶ）の下水道処理区域の拡大、門前地区の本管布設工事、蓮台野地区及び下新町地区の枝線管路布設工事、第一期認可区域（町中心部五十四ヶ）の供用開始

【上水道】 晴高簡易水道増補改良事業、軽米上水大沢地区の配水管布設工事、公共下水道事業に伴う蓮台野地区、門前地区などの配水管布設替え工事、中山間地域総合整備事業（笹渡地区営農飲雑用水施設の給水開始）

【環境衛生】 ごみの減量化など廃棄物の適正処理、合併処理浄化槽の普及、長倉地区の一般廃棄物最終処分場安定化調査

【消防防災】 国民保護計画の策定と国民保護協議会の設置、消防団拠点施設・防火水槽の整備、防火訓練などの町民の危機管理意識の高揚

■健康で安心して暮らせる町づくり

【保健事業】 夕方健診・休日健診の実施、健康相談や健康教育活動の強化、県立軽米病院と協力した「夜の健康教室」や人間ドック事業などの実施、健康ふれあいセンターでの相談体制の充実、乳児検診・予防接種・各種教室の支援、学校と連携した地域ぐるみの食育指導、六十五歳以上の高齢者や十五歳以下の児童らに対するインフルエンザ予防接種の一部助成

【国民健康保険事業】 出産時に町が直接医療機関へ支払う受領委任払い制度の実施、保険税収納率の向上、県立軽米病院などと連携した健康づくり事業の展開、国保事業の健全な運営

【介護保険事業】 総合相談窓口「地域包括支援センター」の設置、介護保険制度の改正や料金設定の周知、健康ふれあいセンターの介護サービス向上、特別養護老人ホームいちい荘の施設介護

将来的に安定・持続できる 財政の確立をめざす予算編成

政府によるの地方財政計画の規模は対前年比〇・七％減、地方一般歳出は一・二％減となり、一般財源については、地方全体としては前年度と同額程度に地方財源が確保されたところでありますが、自治体の規模や財政構造などによって一様ではありません。

小規模で、自主財源の乏しい本町では、町税が減収し、地方交付税も決定額ベースでは一億一千万円の減収でございます。

予算編成にあたっては、このような財政環境を踏まえ、第三次軽米町行政改革大綱の方針に沿って、歳入では町税収入の確保や使用料などの適正な受益者負担をお願いしながら自主財源の確保に努め、歳出では総人件費の削減抑制とそれに対応した組織再編、継続した事務事業の見直

しなどを行いながら、歳入に見合う財政規模の構築を大前提に考えたところであります。将来的に安定・持続でき

一般会計54億7千8百万円を 道路、下水道事業に重点配分

その結果、平成十八年度一般会計当初予算総額は、五十四億七千八百万円、前年当初予算比較で二・九割の減額となりました。

減要因の主なもの、平成十八年度予算で予定していた軽米中学校特別教室大規模改修事業（事業費一億六千万円）が、国の平成十七年度補正予算によって採択見込みとなつたためであり、これを差し引くとほぼ前年度と同規模でございます。

歳入では、臨時財政対策債を含めた地方交付税が予算ベースで横ばいで、町税の減収など歳入全体が減少する中にあっても、住民に密着した道路整備、公共下水道供用開始

る健全財政へ取り組みと、その中で豊かで安心でき、魅力ある地域づくりの実現のため、身近な社会資本の整備、地域福祉の向上、学校教育環境の充実及び産業振興施策を展開する予算編成を行ったところでございます。

に伴う公共施設への接続・改修、町営住宅建替事業への着手などに、財源の重点配分を行いました。

行政改革による財政効果もあり最終的な財源不足は四億円あまりとなり、この不足分については、財政調整基金の取り崩しにより調整させていただきました。

基金残高は、前年度よりやや改善したもの、依然、危機的な財政状況に変わりはないものと認識しており、今後の財政運営においても、限られた財源の重点的・効率的な配分に努めるとともに、継続した行政改革へ一層の取り組みで参ります。



導入が予定される雑穀刈り取り用の汎用コンバイン

基礎・基本に学力向上と、町民一人ひとりに生涯学習の環境を

基礎・基本の定着と 学力向上をめざす

学校教育の充実については、基礎・基本を確実に身に付け、自ら学び、考え、主体的に判断・行動し、問題解決

を図る能力や、豊かな人間性と「生きる力」の育成に取り組んでまいりました。平成十八年度においては、児童・生徒の「基礎・基本の定着と学力の向上」を目指して、授業日数・時数の確保、授業の充実と指導方法の改善に努めるほか、少人数教育の充実、地域と連携した職場体験、開かれた学校づくり、国際理解のための教育、建物改修などにも取り組んで参ります。

学校統合については、懇談会を開催し、各学区からのご理解を得ながら調整を図るほか、新設・統合が予定される「仮称・晴山小学校」の早期実現に努力して参ります。

中高一貫教育については、



町教育行政方針演述を行う佐藤町教育委員長

中高六年間を通じた指導を行い、生徒の個性の伸長と学力向上を図って参ります。

町民一人ひとりに生涯 学習・スポーツの浸透を

生涯学習の推進にあたっては、学校教育と連携して、年代に応じた学習機会を提供し、文化的教養を高め、健康保持・増進が図られる環境の醸成を図って参ります。

また今年は、昭和六十二年の生涯学習の町宣言から二十一年目を迎えることから、記念事業や各団体と協働した事業を展開して参ります。

次代を担う子どもたちの健

サービスの充実

【福祉事業】生きがい通所支援事業の充実、在宅介護支援、一人暮らし老人宅への緊急通報体制の整備

【障害福祉】障害者自立支援法の適正実施と利用者への周知、二戸地域障害者生活支援センターと連携した障害者の自立と社会参加の支援

【地域子育て支援】軽米保育園への地域子育て支援センターの設置、児童クラブへの支援、子育て支援ボランティアの育成

■働きがいのある産業の展開する町づくり

【農業・園芸振興】水稻の本田無化学肥料栽培による食の安全・安心システムの確立と消費者の視点に立った安全な農畜産物の供給、「カシオペア園芸産地確立サポートセンター」の構築とエコファーマーへの誘導・技術指導、雨よけほうれん草などの野菜栽培の規模拡大、リンドウとスプレイグクの生産拡大、葉たばこの機械化作業体系の整備

【畜産振興】町家畜貸付事業による繁殖雌牛の貸し付け、受精卵移植を活用した優良雌牛の生産、地域内一貫生産体制の推進【雑穀の生産振興】雑穀精選機と汎用コンバイン導入助成【中山間地域等直接支払制度】説明会開催による制度の周知【農業振興地域整備計画】地域の特性や課題、地区住民の意向などを把握しながらの計画策定

【農業経営基盤強化促進対策】平成十九年産から導入される品目横断的経営安定対策に対応した認定農業者など担い手の育成【農業生産基盤の整備】皂角子久保、下河南両地区の調査設計実施と基盤整備事業の採択要望、軽米・九戸地区広域農道整備事業の町中心部への接続道路の早期完成要望、農免農道整備事業（観音林地区）の早期完成要望、中山間地域総合整備事業（増子内地区）の早期完成要望、大清水・内城地区の圃場整備事業の早期採択要望

【林業・木炭の振興】森林保育事業による優良材の生産と森林の適正管理、林業生産基盤整備事業（林道舘ヶ沢線）、森林整備地域活動支援交付金事業、日本一の生産量と品質を誇る「軽米木炭」のPR、特用林産物の新商品開発と生産者の組織化推進、グリーンデー・林業振興祭の開催による緑化意識の高揚【商工業の振興】町商工団体への助成による商工業の振興、共通商品券の発行事業への支援、町の制度融資の幹旋・利子補給事業、中小企業災害資金への利子補給事業

【中心商店街の活性化】物産交流館の利用促進と河川敷を利用したイベントの開催

【観光の振興】広域観光推進事業への参画による観光振興と本

町への誘客、町観光協会を通じたイベント（軽米秋まつり、森と水とチューリップフェスティバル）への支援、雪谷川ダムフオリストパーク・軽米へのカブト虫の繁殖場の増設とふれあい体験用ハウスの整備

【地場産業の振興】姉妹町音更町との物産交流事業の強化、産業まつりの開催、地場産品の販路拡大事業への助成、各種物産展への町内業者の参加による本町物産のPR

■個性を生かした創造性にあふれた町づくり

【生涯学習の推進】健康で創造性豊かな広い視野をもった人材育成と教育文化の向上、読書活動の推進

【教育環境の整備】軽米中学校特別教室棟改修事業、軽米小学校便所改修事業、複式学級及び極小規模校の解消のため教育委員会の方針を踏まえた学校統合の推進

■共に創る町づくり
【町政への住民参加】町政モニター会議や地域懇談会などの開催

【協働参画の町づくり】協働の道づくり事業、小型除雪機の地域への貸し出し

【区長回覧文書】広報かるまいお知らせ版の全戸配布

【情報化の推進】町ホームページの充実、地上デジタル放送・移动通信電話・ブロードバンド化への計画的な対応

全育成については、地域や関係団体と連携した教育振興運動を展開するほか、子どもの読書活動についても推進して参ります。

文化・芸術の振興については、町内の各遺跡からの遺物を学習機会に生かせるよう整備していきたいと考えているほか、近世資料の収集整理や郷土芸能の保存・育成にも努力していきます。また町文化協会への支援を通じ、芸術・文化の育成にも努めて参ります。

生涯スポーツの推進については、町民一人ひとりが日常生活の中で、いつでも、どこでもスポーツに親しめる環境づくりに努めるとともに、パークゴルフ場の新コースの早期開業や、本町では初めての取り組みとなる「チャレンジデー」を開催して参ります。そのほか、町体育協会と連携したウェーブ二千「夢」づくり事業の開催など、競技スポーツの振興にも努め、大きな夢を持てる児童・生徒の育成を推進して参ります。



生涯学習・スポーツともに誰でもできる環境づくりを



町民から大きな拍手が送られる中出発する町民バス「チューリップ号」

100円町民バスも 運行をスタート

町民バス「チューリップ号」の出発式も四月一日、物産交流館の開所式に引き続く

同敷地内で行われました。バスの前でテープカットをした後、運転手に無事故運行を願う花束を贈呈。車体にチューリップの絵柄があらわされた町民バス三台が次々と出発すると、集まった町民は大きな拍手で見送りました。

町民バスは、町が委託運行するもので、一乗車百円で誰でも利用ができます。平成十八年三月で廃止となった患者輸送バスと福祉バスとほぼ同じ路線で、曜日ごとに運行するほか、役場・老人福祉センター間、観音林・九戸村丸木橋間は休日を除いた毎日運行されます。

また観音林・九戸村丸木橋間の便を除いた全ての便が、役場と町物産交流館、県立軽米病院に停車します。そのほか、園児や児童・生徒の通学送迎にも活用され、町民の足として大きな期待が寄せられています。

もっと雑穀を食べよう

「もっとと雑穀を食べよう」講演会と試食会が三月五日、農村環境改善センターで開催されました。雑穀料理の試食会は、家庭でも日々の食事にもっと手軽に雑穀を取り入れようと、北いわて農協護穀生産部会と町食生活改善推進員、町シールバー人材センターの皆さんに調理を依頼。町内産の雑穀を使って、



達磨ヒエを練りこんだ柳ばつとや、アワの入ったお蒸かしなど十品の創作料理が並べられ、参加者は味と調理方法を確かめていました。

講演会では、講師に元県立病院栄養管理室長の松本紀子さんを迎え「雑穀の栄養と健康」と題して、医療現場での食事に雑穀を取り入れた事例を紹介。「ひとつの食材で完全なものではなく、バランスよく取り入れることが大切。雑穀も朝食は毎日とか、曜日を決めるなどして少しずつ継続して取り続けてください」とのアドバイスに、参加者は耳を傾けていました。

▼肉団子にイナキビをまぶし、蒸し揚げた「いなきびの肉だんご」



▲から煎りしたエゴマを混ぜて焼いた「えごま入り串餅」

当日の調理作品例

▼小松菜のおひたしに蒸した粒ソバとイナキビをまぶした「粒そばの青菜炒め」



▲達磨ヒエを混ぜて作った「だるまヒエ入り柳ばつと」

町物産交流館（仲町） 待望のオープン

町が仲町地区に整備を進めてきた町物産交流館が完成し、四月一日に開所式が行われました。同館は、町特産品の展示販売、バス待合・休憩室などを備え、町中心街の賑い創出の核施設として大きな期待が寄せられています。

町物産交流館の開所式には、町や県の職員と地域住民約五十人が集まりました。

開所式で山本賢一町長が「中心街の賑わいの核となる待望の施設が完成した。中心街の活性化のため、皆さんで使って大いに盛り上げていってほしい」とあいさつを行いました。続くテープカットでは、来賓がはさみを入れると会場からは大きな拍手が送られました。

式典の後に行われた景品付きの餅まきには、二百人を超える人が集まり、特産品展示販売所なども大勢の人で賑わいをみせていました。

同交流館は、仲町地区の



オープンに先立ちテープカットが行われました

みちのく銀行軽米支店に隣接した九九四・四七平方メートルの敷地に総事業費四千百万円で建設。中心街と雪谷川沿いの道路にそれぞれ接しています。木造平屋建ての施設内には、町特産品などの展示販売室と事務室を兼ねた路線バスの切符販売所、バスの待合室としても利用できる無料の休憩所、二十四時間利用できる公衆トイレが備えられ、誰でも気軽に利用できます。

また、敷地内には乗用車十一台と二台分のマイクロバスを収容可能な駐車スペースが確保され、イベント開催の際のスペースとしても活用が期待されています。

■町特産品の展示・販売

軽米町の特産品を取り揃えて、展示販売しています。
◎営業時間：9:00～19:30
◎休業日：毎週火曜日、年末年始(12/31～1/2)



バスの待ち合い所、そのほか休憩室として利用できます。
◎開放時間：7:00～19:30（無休）

■バスの待合所・休憩所



■管理事務所

◎管理者：(株)軽米町産業開発 (TEL 4 6 - 4 2 2 2)

■路線バスの定期券と回数券の販売所

JRバスと南部バスの切符を取り扱います
◎取扱時間：7:00～19:30
※毎週火曜日と年末年始（12/31～1/2）は7:00～11:00



■公衆トイレ

24時間利用が可能です



■駐車スペース

乗用車11台とマイクロバス2台分の駐車が可能です。

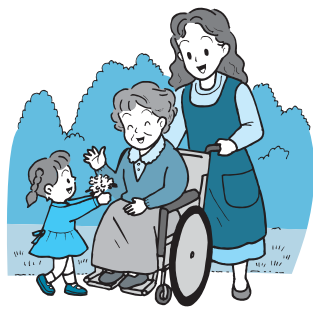
平成18年4月から

介護保険料が変わります

みんな
支え
介 護 保 険

介護保険サービスをより充実させるために、平成18年4月から介護保険料が見直しになりました。前回の見直しから3年が経過しましたが、高齢者の方と、介護を必要とする方が増加し、在宅介護などのサービスを充実させるためのものです。
この保険料は、本町を含めて介護保険事務を共同で行っている二戸広域圏が対象となります。

【問い合わせ先】
二戸広域行政事務組合
(☎23-7772)



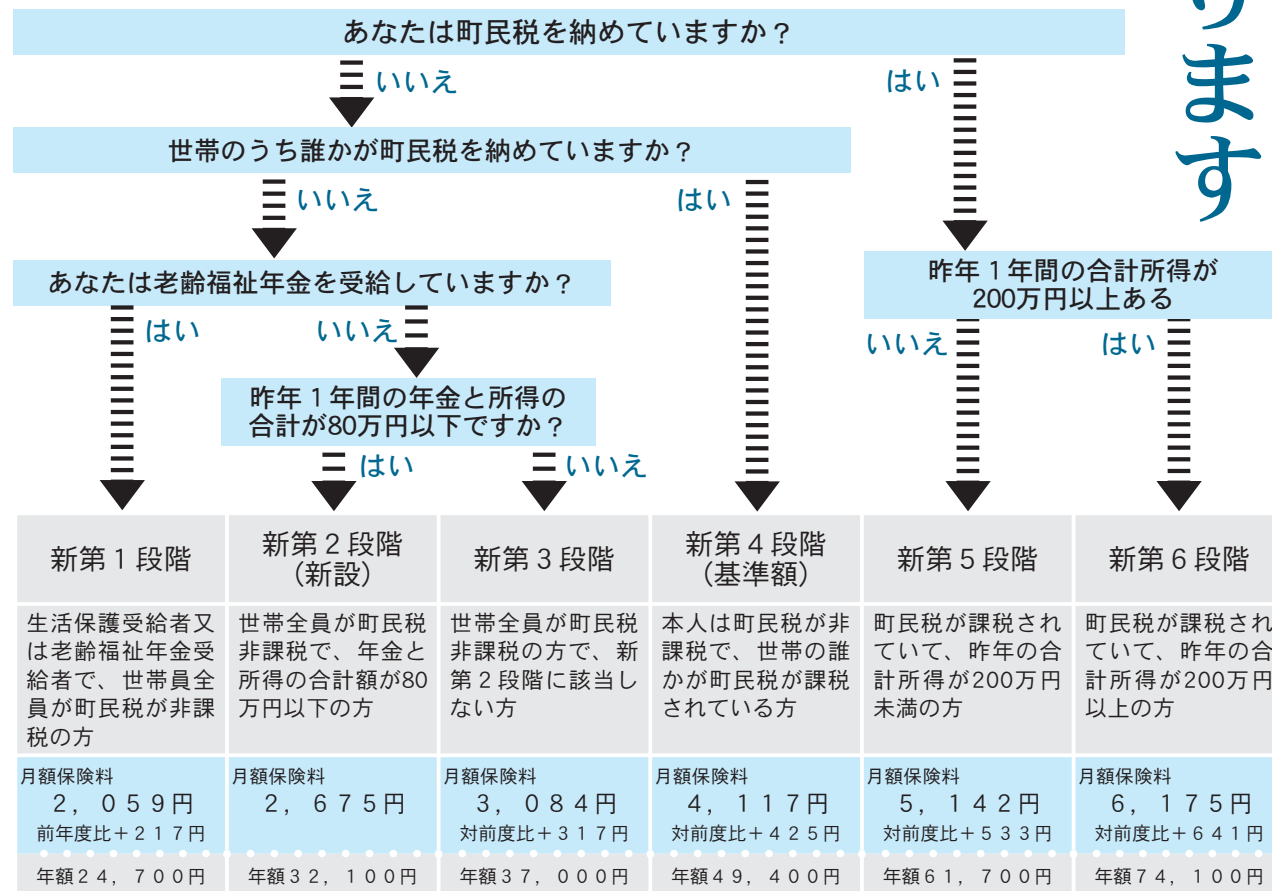
40歳以上65歳未満の方は医療保険で徴収

40歳64歳の方の介護保険料については、各自がご加入されている医療保険制度（国民健康保険、社会保険など）によって保険料額が決められます。

65歳以上の方は6段階に分かれます

65歳以上の方の介護保険料は、町民税の課税状況や所得に応じて保険料段階が決められ、平成17年度までは月額3,692円を基準に決められていましたが、今回の見直しにより平成18年4月からの保険料は、月額4,117円を基準に、次のとおりに変わります。

☆自分の保険料を確かめましょう《65歳以上の方》



◎障害者年金と遺族年金からの保険料の天引きが、平成18年10月から始まります。

これまで基礎年金からだけだった年金からの保険料天引き納付が、平成18年10月から障害者年金と遺族年金からも行われます。
なお、65歳になった誕生月から翌年の9月までの間は、納付書での納付になりますので、納付のお忘れにご注意ください。

”チャレンジデー2006”で住民参加と健康づくりを進めよう



体を動かすことが参加になるチャレンジデー

5月31日(水)開催
(0:0021:00)



チャレンジデーとは

チャレンジデーは、体を動かすことで運動の習慣づくりのきっかけにしようとする活動で、住民の皆さんの参加により行われます。

カナダで始まったチャレンジデーは、日本では一九九三年に第一回目を開催しています。二〇〇六年には、全国から九十四の自治体などが参加します。その中から、人口規模が同じくらいの自治体同士が参加率を競い合います。

対戦相手は瀬戸内町

今回初めて参加する軽米町の対戦相手は、抽選の結果、鹿児島県の瀬戸内町に決定しました。奄美大島にある人口が一万千六百六十六人の町で、お互いの住民参加率を競い合います。

開催日は5月31日

毎年五月の最終水曜日に実施されていて、今年は五月三十一日に行われます。
時間は、午前零時から午後九時までのうちなら、どの時間帯でもかまいませんので自由参加です。

分の都合の良い時間、場所に参加してください。

対象は町内にいる人

参加対象者は町内にお住まいの方のほか、当日町内にいれば親戚や友人など町外の方でも参加できます。

加したことになります。

いつもは車やバスなどの通勤・通学を徒歩にしたり、犬の散歩をいつもより長くしたり、家の掃除を念入りに行ったりでも対象になります。とにかく体を動かしましょう。



【お問い合わせ先】チャレンジデー軽米町実行委員会
(町教育委員会・生涯学習グループ TEL46-4744)

15分間体を動かそう

参加種目は特に決まっていません。とにかく、十五分以上継続して、運動やスポーツなどの身体活動を行えば参加です。

参加登録を忘れずに

参加率の計算には、皆さんからの参加登録が必要です。当日の午後九時三十分までに、役場に設置する集計センターに必ず参加したことをお知らせください。参加報告書

気になる対戦相手 鹿児島県瀬戸内町

軽米町	
瀬戸内町	
人口	11,066人
世帯数	5,622世帯
面積	239.89㎡

鹿児島県南端にある奄美大島の一部と3つの島からなる町で、昭和31年に4町村が合併し、本年は合併50周年を迎えます。一年を通じて温暖な気候と自然に恵まれ、海産物、フルーツ、黒糖などが特産の町です。

参加率で金メダルも

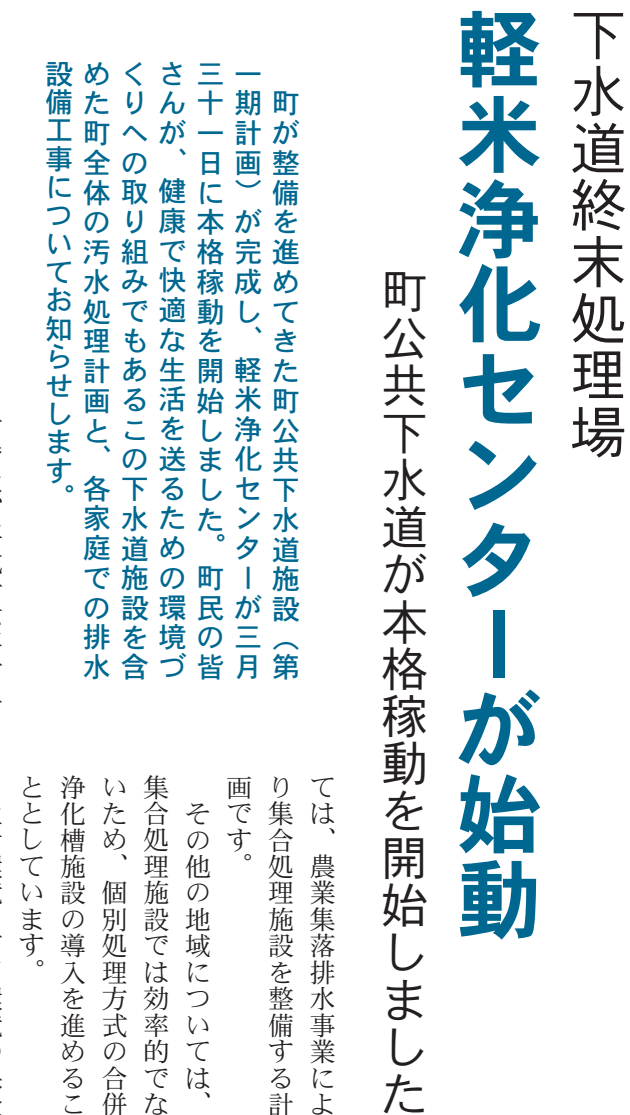
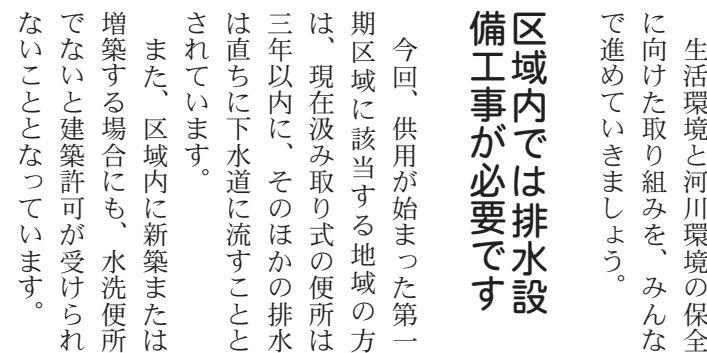
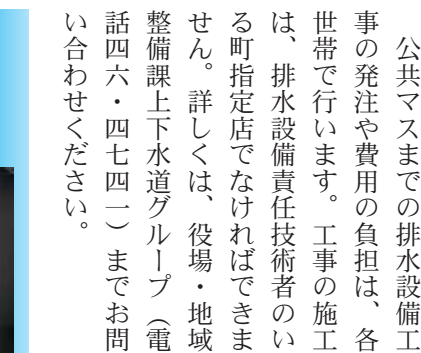
参加率に応じて、主催者の笹川スポーツ財団チャレンジデーコミッティから金・銀・銅のメダルが贈られます。本町の人口の場合には、五五割以上で金、三三割から五五割が銀、三三割未満で銅になります。また、参加率で対戦相手を下回ると、相手町の町旗を役場の掲揚ポールに一週間掲げなければならないユニークなルールもあります。

みんなでつくろう
安心の街

4月6日(木) 15日(土)

外出するときは、必ず鍵を掛けて、近所にも声を掛けるなどして、被害を未然に防ぎましょう。

▶飲酒運転検挙者 ありません



町で指定工事店をとりまめてお知らせしますので、ご協力をお願いします。

平成18年4月からの町役場組織と職員配置（敬称略）

＜平成18年4月1日発令、太字黒色は課長級職、太字色付は昇格異動、◎はグループ長、☆は新採用、㊦は併任発令＞

庁舎3階事務室内

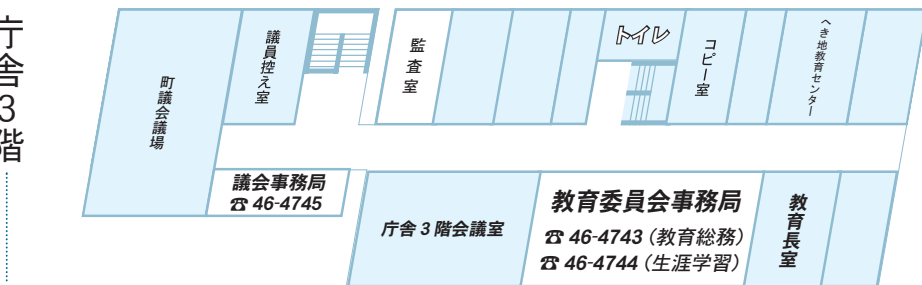
教育委員会事務局

教育次長 田端君夫
教育総務担当主幹 大村文男
教育総務グループ
◎次長補佐 君成田隆
主査 戸田沢光彦
主査 橋本邦子
主査 堀米豊樹
主査 福田浩司
主査 梅木勝彦
主査 日脇邦昭
主査 小林夏樹
主事 藤田直行

議会事務局

局長 西山武男
局長補佐 小林美紀子
主査 大西昇
※監査委員事務局併任

庁舎3階



庁舎2階事務室内

総務課

課長 田中良一
㊦総務担当主幹 小林精子
企画政策グループ
◎課長補佐 野中勲
主任主査 山下隆
主任 関向孝行
主事 紫葉千賀子
総務グループ
◎主任主査 日山充
主査 工藤薫
主査 江刺家雅弘
主査 日山一則
主任 於本博之
主事 寺地亜紀子
主事 田中裕子
情報防災グループ
◎課長補佐 小笠原邦之
主査 吉岡靖
主査 坂下浩志
主査 福島貴浩
主事 鶴飼義信
総務課付（二戸広域行政事務組合派遣） 山本幸子

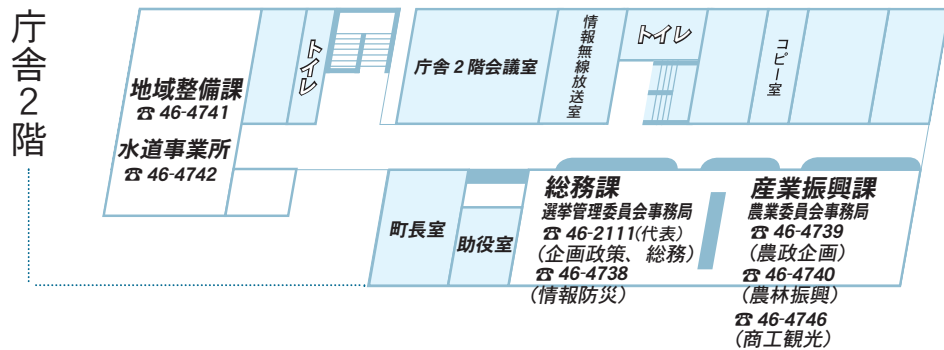
選挙管理委員会事務局

事務局長 小林精子

産業振興課

課長 日脇初男
㊦農政企画担当主幹 古里多一

農政企画グループ
◎課長補佐 江刺家高
㊦主任主査 小笠原昭夫
主任主査 中野武美
主査 川原木純二
主査 外山和寿
主査 畑中幸夫
農林振興グループ
◎主任主査 高橋良春
主任主査 兼田英明
主査 菅原敏見
主査 大清水一敬
主査 菅波敏
主任 竹澤泰司



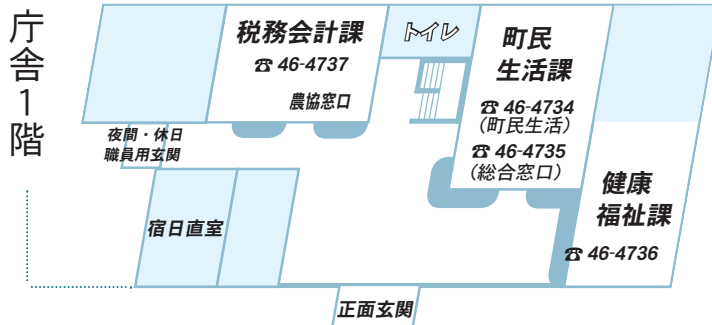
庁舎1階事務室内

税務会計課

課長 泉山幸男
会計担当主幹兼課長補佐 江刺家静子
課長補佐 畑澤勝子
課税グループ
◎主任主査 於本一則
主査 川島康夫
主査 外山充
主事 寺地隆之
主事 山下善昭
収納会計グループ
◎主任主査 山田元
主任主査 佐々木久
主査 坂本修
主任 野中孝博
主事 千葉久司

町民生活課

課長 中野徳栄
総合窓口グループ
◎課長補佐 中野とき
主査 小林千鶴子
主査 工藤祥子
主事 村井浩和



健康福祉課

課長 平内和男
㊦健康づくり担当主幹 前田泰穂
福祉グループ
◎課長補佐 鎌戸和則

地域整備課

課長 西山隆介
㊦上下水道担当主幹 山下健一
環境整備グループ
◎課長補佐 小笠原茂
主任主査 金山毅彦
主査 小林浩
主査 松山篤
主査 戸草内和典
主任 神久保恵蔵
主査 池田明広
主査 古館義明

水道事業所

※上下水道グループは水道事業所併任
所長 山下健一
上下水道グループ
◎主任主査 横島益男
主任主査 菅原高志
主任主査 中村恭博
主任 輪達隆志
技能手 高田和生
※上下水道グループは地域整備課上下水道グループ併任

健康ふれあいセンター

所長 前田泰穂
居宅サービスグループ
◎所長補佐 杉浦直行
主任主査 下谷地了子
主任看護師 松浦近子
主任看護師 内城良子
社会福祉主事 山田里美
町立図書館
館長 畠山俊美
主任 吉岡芳幸
主任（司書）輪達ひろか

特別養護老人ホーム いちい荘

所長 竹下光雄
主任主査 齋藤崇
主任看護師 藤田美枝子
主任看護師 小林弘子
主任看護師 日山愛子
主任看護師 高山京子
主任看護師 鎌田愛子
主任看護師 外川愛子
主任看護師 平船シズエ
主任看護師 藤嶋百合子
主任看護師 梅木久美子

山内保育園

園長 佐々木せつ子
園長代理 田畑トヨ

笹渡保育園

園長 西山良子
主任保育士 小林留美子

観音林児童館

館長 小笠原敬子
主任主査 田村せつ

円子児童館

館長 浅水ひろ
主任主査 上席主任児童厚生員

晴高児童館

館長 木村あき子
主任主査 紫葉律子

軽米幼稚園

園長代理 上澤和子
主任主査 菅原和子
主任主査 畑中則子
主任 榎澤順子

学校用務員

軽米小 中里アキ
観音林小 坂上京子
軽米中 泉山啓子
小笠原小 田中敏子
笹渡小 田頭トヨ子

【退職者】敬称略

（平成18年3月31日付け）
中田紀子（笹渡保育園長）
関向玲子（生涯学習課長）
栗谷川豊（小笠原保育園長）
須藤昭夫（企画財政課長）
後藤良孝（水道事業所長）
中村明（水道事業所主幹）

町の未来をみんなで考えよう

自立に向けた町づくり、 産業の振興、学校統合など 多くの質問・意見が出された 平成17年度地域懇談会



軽米地区会場（2月8日、農村環境改善センター）

町民の皆さんと町づくりへの情報を共有し、町政について一緒に話し合う平成十七年度の地域懇談会が、一月二十六日から二月八日にかけて町内九会場で全十回行われました。延べ二百人あまりの町民と町議会議員、山本賢一町長をはじめ町職員が参加し、これからの町づくりについて話し合われた懇談会の主な内容を紹介します。

懇談会では、初めに山本賢一町長が町で取り組む行財政改革や産業の振興など、今後進める施策の概要を説明したほか、行政改革の取り組み状況と役場組織の見直し、町民バスの運行、下水道施設や農業集落排水計画などについて、資料に基づいた情報提供が行われました。

こうした説明に対する質問や意見、各地域の課題や要望などについて、延べ百三十五人の方からの発言があり、活発な情報交換が行われました。質問・意見と回答について主なものを紹介します。

■役場組織の見直しについて

課の統廃合やグループ制の導入については、反対や改善すべきとの意見はありません

通らないコースを対象としているので路線バスがあるところはそちらを利用いただきたい。利便性を考えながら、数年後には見直しも必要と思っている。

〔Q〕スクールバスの廃止により町民バスで通学する児童・生徒は有料になるのか？
〔A〕無料で利用いただく。

■学校統合について

学校統合の進捗状況や統合に対する町教育委員会の考え方について、各地域で多くの質問・意見が出されました。統合で地域から学校がなくなることへの不安や、統合を町がもっと主導してはどうかなどの意見が聞かれました。

【主な意見・質問】

〔Q〕学校統合計画の状況は？
〔A〕平成十三年度の学区調整委員会による答申をもとに、地区の合意を得られるよう協議を続けている。晴山地区の三小学校（山内、観音林、晴高）は、平成二十二年に統合することで進んでおり、現在はい新校舎用地の選定を行っている。小軽米地区は、米田小が

■町民バスについて

【主な意見・質問】

〔Q〕町民バスのコースにない地区があるが？
〔A〕町民バスは、路線バスが



▶高家地区会場（2月7日）
◀山内地区会場（2月6日）



▶笹渡地区会場（1月27日）
◀小軽米地区会場（1月27日）



平成十九年四月に小軽米小に統合が決定した。笹渡小は平成十九年度、笹渡中は二十一年度までに小軽米小・中へそれぞれ統合の計画である。軽米地区は、円子小が平成二十二年年度までに軽米小へ統合する計画である。その他の地区とも協議を続けていく。

〔Q〕米田小の統合が決まったが、統合するまでも地域の要望を聞いて対応してほしい。

〔A〕閉校式の経費などできるだけ要望に沿っていきたい。

〔Q〕地域にまかせるのではなく、もっと（町が統合を）指導していったらどうか？
〔A〕平成十三年度の学区調整委員会での答申をもとに、できるだけ早く統合を進めていきたいと考えている。いずれ地区の合意が前提となる。

◆主な質問・意見と町の回答◆

【少子化対策】

Q 祝い金制度が無くなると聞いた。できれば無くしてもらいたくないが？

A 平成17年4月から見直し、長寿祝い金は100歳で50万円、90歳で5万円、95歳は廃止した。逆に少子化対策として、すこやかベビー祝い金は増額している

Q 少子化と人口減少が進み、結婚相談員は無くなっている。町ではどのように対応するのか？

A 未婚者同士の出会いの場やふれあい交流の場を数多く提供していく。若い人の雇用の場も確保しなければならないと考えている

Q 人口減少の中では、農業・地場産業ともに効果がにくい。地域での取り組みを活性化すべきではないか？

A 合併当初の1万8千人から、現在は

1万人になっている。未婚者同士の出会いの場、農業法人化などを検討し、総合的な対策を講じていきたい

【教育】

Q 小規模校では学校用務員が廃止されるが、午前と午後など振り分けて対応できないか？

A 用務員の削減は児童数が25名以下となった場合である。現在も1人で2校を受け持ちながら実施している。

Q 35人学級の実現はあるのか？

A 現在のところ県からの正式な知らせは無い。期待している状況である。

【市町村合併】

Q 当面合併しないということだが、今後、合併を進める場合には対等合併で進めていくべきと思うが？

A 県南のほうでは10万人都市も誕生しているが、本町は財政を立て直し、

工夫しながら対応していきたい。

Q 合併した場合と、しない場合との違いはどこにあるか？

A 借金の合併特例債が認められ、その8割が交付税による補助を受けられる。ほかに、合併市町村の交付税の合計が全て交付されることなどがある。

Q 合併しないことであるが、どこまで町がもつ心配。八戸市との合併も良いのではないか？

A 自立するため行財政改革を進めていく考えである。

Q 将来の町の展望は？

A 当面自立することで進めている。安全・安心な食材の雑穀を、付加価値を付けて販売するなど幅広く取り組みながら、地方交付税が減少する中でも活性化に向けて取り組んでいく。

【情報化】

Q 携帯電話やインターネットを（町中心部以外の地域でも）利用できる環境

の整備ができないか？

A 町内には携帯電話の利用できない区域もあるが、鉄塔を建てるとなると数億円の経費が必要になる。インターネットのADSL回線の設置については、NTTでは300人ほどの利用申し込みが必要とのことであり、今後、利用希望者の調査を進めていきたい。

【くらし】

Q 独り暮らし世帯と、健康ふれあいセンターとが連絡を取れるようになっていないか？

A 緊急通報装置を設置している。設置されていない方がいれば、教えていただきたい。

Q 防犯対策はどのようにしているか？

A 町防犯隊による街頭活動や、学校では防犯ブザーを配付している。平成18年度からはスクールガードを導入し、活用していきたいと思っている。

Q 軽米小通りの拡幅工事の状況は？

A 平成17年度から実施し、工事着工は平成19年度からの見込みで、車道幅5m、歩道幅1mで計画している。

【物産交流館】

Q 物産交流館の概要は？

A 特産品の展示販売とバスの待合・休憩室、いつでも利用できるトイレと駐車場を備えている。イベントも開催していきたい。管理は第三セクターの株式会社軽米町産業開発を予定している

【町議会】

Q 議員定数は減らせないか？

A 検討委員会ではいろいろと意見が出たが、町民の声を反映させるには必要とのことで次回から16人となった。

※そのほかに出された意見など

- ・除雪作業を早くきれいにやってほしい
- ・テレビの地上デジタル化の概要
- ・町施設へのアスベスト使用状況
- ・広報の文字を大きくしてほしい
- ・情報無線が聞こえないところがある

福田松三郎さん（元町消防団副団長）が 瑞宝単光章を受章



山本町長から叙勲の伝達を受ける福田さん（中央）

元町消防団副団長の福田松三郎さん（上野場、八十八歳）が、高齢者叙勲で瑞宝単光章（消防功労）を受章しました。

三月二十日に福田さんが入所する花の里かるまいで、山本賢一町長から勲章と勲記を伝達。長男の光雄さんが「叙勲の受章を報告したときには、涙を流して喜んでいました」と本人に代わって喜びを話していました。

福田さんは、昭和十二年に当時の晴山消防組に入団。昭和三十年に現在の町消防団が結成された後、昭和三十七年に分団長、昭和四十三年には副団長を歴任されました。昭和四十六年三月に退団するまでの三十四年間にわたり、地域と町の防火意識の高揚と数多くの消火活動に尽力されま

平成17年度消防表彰 18人が受章

平成十七年度の県消防表彰式が三月十五日、盛岡市の岩手県民会館で開催され、町消防団から団員十八人が受章しました。表彰式には被表彰者八人が出席。帰町後、山本賢一町長に受章報告を行いました。受章された方は、下記のとおりです。



表彰式に出席後、山本町長に受章を報告した被表彰者の皆さん

平成17年度消防表彰受章者（敬称略）

- ★消防庁長官表彰
【永年勤続功労章】副団長・西舘勇
- ★日本消防協会会長表彰
【精積章】副団長・細谷地義昭、同・上村清次郎
【勤続章】分団長・竹林朝雄、副分団長・梅木信夫、部長・小野寺徹、同・内城邦夫
- ★岩手県知事表彰
【功績章】分団長・山野下信夫、同・坂本昌彦、同・小野寺祐治、同・小野寺隆治
- ★岩手県消防協会総裁・会長表彰
【功労章】副分団長・板橋政美
【功績章】分団長・山野下信夫、副分団長・細谷地多門、部長・笹山廣志
【内助功労者感謝状】日向ヒデ（第1分団長夫人）、大谷地弘子（第6分団長夫人）
【優良婦人消防協力隊員】町婦人消防協力隊連絡協議会監事・松山まつよ

松山タミさん（上増子内） 満100歳おめでとう

松山タミさん（上増子内）が、三月二十日に満百歳の誕生日を迎え、入所先の特別養護老人ホームいちい荘でお祝いの会が行われました。

山本賢一町長が「百歳のお誕生日を迎え、おめでとうございませう。わたしの倍くらい年齢ですが、これからお体に気をつけてお元気でいてください」と長寿祝い金と直筆の色紙を贈呈しました。

三月生まれの方の誕生会も併せて開催され、西山流宝扇会の皆さんが踊りを披露するなど、松山さんの満百歳をお祝いしました。

松山さんで、町内の百歳の方は三月二十日現在で、四人となりました。



山本町長から長寿のお祝いを受け取る松山さん（左）



前田さん（右）の指導で、音声訳のノウハウを学ぶ軽米高JRC部と参加者の皆さん

町の情報と 話し手の心を伝える

県立軽米高校で 声の広報朗読研修会

広報かるまいを音声録音し町内の視覚障害の方へ届ける「声の広報」の作成に取り組む県立軽米高校（春日川寛治校長）のJRC（青少年赤十字）部を対象にした朗読研修会が三月十一日、同校で開催され、同部員と読み聞かせ活動を行うボランティアなど十五人が参加しました。

広報かるまいを音声録音し町内の視覚障害の方へ届ける「声の広報」の作成に取り組む県立軽米高校（春日川寛治校長）のJRC（青少年赤十字）部を対象にした朗読研修会が三月十一日、同校で開催され、同部員と読み聞かせ活動を行うボランティアなど十五人が参加しました。

前田さんは「町広報紙の音声訳に高校生が取り組んでいる例は少なく、ぜひこれからも続けてください」と話し「聞き手に『伝える』気持ち忘れずに取り組めば、これからもっと向上するはずですよ」とアドバイスしました。

部長の向駒木美和さん（三年）は「研修の成果を生かしていきたい。正確に内容が伝えられるよう気持ちを込めて行っていました」と張り切っていました。

同校では「声の広報」づくり、平成十七年五月号から取り組んでいます。

らしい。得意な図工でいろいろ作っていきたい」と喜んでいました。



野中くん版画作品

全国コンクールで金賞を受賞した野中くん



協同組合日本専門店会連盟が主催する第十五回全国児童版画コンクールで、野中瞭くん（円子小四年）の

第15回日専連全国児童版画コンクール 野中瞭くんが全国金賞に

作成した版画作品が、小学三年生（当時）の部で金賞を受賞しました。

野中くんの作品は、一月二十九日に表彰式が行われた盛岡・二戸・花巻・遠野地区審査で三位に相当する日専連東北地区連合会理事長賞を受賞し、全国審査会へ出品。見事金賞を受賞しました。

版画や図工が好きな野中くんは「金賞がもらえてうれ

平成17年度県北ジュニア選抜 インドアソフトテニス大会

田畑あやか・澤田千明組 （軽米高女子）が優勝

3月4日、5日、11日、12日の4日間にわたり町民体育館で開催された、平成17年度・第15回県北地区ジュニア選抜インドアソフトテニス大会で、軽米高女子の田畑あやか・澤田千明組が優勝を飾りました。その他の上位結果は、次のとおりです。

- 【男子】（参加40組）
①延足一也・星野彰一組（久慈東高）
②瀧澤佳之・長瀬拓真組（軽米高）
【女子】（参加40組）
①田畑あやか・澤田千明組（軽米高）
②松葉沙織・深渡麻衣組（普代中）
※敬称略

地域色を生かした公民館活動を



観音林自治会の公民館活動について事例発表する
坂上さん（中央奥）

町自治公民館連絡協議会（古館壽郎会長）が主催する自治公民館活動交流集会が三月五日、町内の自治公民館関係者約五十人が参加し、観音林自治公民館で開催されました。地域の連帯や子どもたちの健全育成に大きな役割を担う、公民館活動の情報交流を目的に開催。観音林自治公民館長の坂上清さんが、夏の納涼祭りや冬のソバ打ち講習会など住民同士と帰省家族との交流事例と、「結い」による地域づくりを発表。参加者は各々の地域に照らしながら、活発な意見交換が行われていました。

春を呼ぶ歌と音のコンサート

県立軽米高校（春日川寛治校長＝当時）の音楽部と吹奏楽部の生徒三十五人が三月三日、県立軽米病院を慰問し「ひなまつりコンサート」を開催しました。歌と音楽による交流と、一足早い春を感じてもらおうと両部が企画したもので、入院患者や職員など約六十人が見守る中「川の流れるように」など、見事な合唱と演奏を披露。手拍子を送ったり、目頭を押さえながら熱心に聞き入っていました。



軽米高校生（右上）の心温まる合唱と演奏
を楽しんだ軽米病院の皆さん

農業経営の役割分担を明確に



家族経営協定書に署名を行う町内農家の皆さん

農業経営について家族内で仕事の役割分担や報酬などを取り決める家族経営協定の調印式が、三月二十日に役場で行われました。町内で農業を営む四家族と、山本賢一町長、武田眞一二戸農業改良普及センター所長が立会人として出席。就業時間や収益の配分などについて書かれた家族経営協定書に捺印を行いました。農業技術を修得後、家業の畜産業に従事する向屋敷和人さん（笹渡、二十二歳）は「これを機会に、今まで以上に農業経営に力をいれていきたい」と決意を話していました。

スポレク交流で爽やかな汗

町長杯ドッジボール選手権が三月二十六日、農村環境改善センターで開催されました。成年交流を図ろうと町や北のロマン実行委員会などが共同で開催。町内のほか八戸市内からの女性など合わせて約五十人が参加しました。試合は、柔らかなボールを使用したレクリエーション形式で行われ、時おり激しいパスワークなども展開され、大いに盛り上がりました。試合後には懇親会も開催され、地域と男女の交流を深めていました。



ドッジボールの試合を楽しみながら交流を深めた参加者の皆さん

昔の生活が現代の遊びで蘇る

ちびっ子ふれあい交流会が三月十九日、町老人福祉センターで開催され、約百人が昔遊びなどを通じて世代間交流を楽しみました。この日は、おじいちゃんおばあちゃんが先生役になって、孫やひ孫世代の子どもたちに熱血指導。「昔はよく作って遊んだもんだ」と自分たちが幼かった頃の生活や思い出話を交えながら、凧づくりやワラ細工、餅つきなどを寄り添いながら手取り足取り教え、子どもたちの楽しむ姿に目を細めていました。



木の骨組みと紙などでつくる和凧づくりに夢中で取り組みました

笹渡地区に待望の宮太鼓鳴る



新しい太鼓の音を確認する笹渡小中学校の児童・生徒の皆さん

笹渡地区教育振興会（湯川秀俊会長）に宮太鼓と締太鼓十三台が導入され、三月二十二日にお披露目が行われました。地域活動を支援する財団法人自治総合センターと町からの助成により整備されたもので、軽米夏まつりのナニヤドヤラ大会への参加や笹渡星流太鼓など、児童・生徒による一層の幅広い活動が期待されます。星流太鼓に小学四年から参加する鶴飼大和くん（笹渡中三年）は「思う存分練習ができるし、大切に使っていきたい」と喜んでいました。

昭和60年10月31日姉妹提携 音更町だより

「十勝川白鳥まつり」が1月29日から3月5日まで、十勝川温泉で開催されました。期間中はメインイベント「彩凧詩」が午後7時から連日開かれ、三角すいや球体型の光のオブジェ約300基が“光の森”を演出。2万人を超える来場者を楽しませました。



幻想的な雰囲気でも来場者の歓声を誘った「彩凧詩」

4月のふれセンだより

申し込みを忘れても受診できます
「まちの検診」を
まず受けてみましょう



主任保健師
日向 安子

今年も4月の胃検診をはじめ、がん検診や基本健康診査が行われます。それぞれの検診が近くなったあたりに、申し込みした方には行政連絡区長さんを通じて検診通知書をお届けします。

2月の申し込みの際に、申し込み用紙の回収ができなかった方や記載漏れのあった方には、できる限り連絡をして確認をとるようにしましたが、連絡の取れなかった方には、検診通知書が届かないことがあります。

通知書が届かず「検診を受けたかった」という方は、健康ふれあいセンターにご連絡ください。受診ができます。また「申し込みの時は受けないことにしたけれど、受けたくなった」という方も受け付けできますので、いずれも、お電話などでお問い合わせください。

検診を、自分のカラダに関心を持つきっかけにぜひ、お役立てください。

☎46-4111



◆プロフィール◆
【氏名】 Christopher Jones
（クリストファー・ジョーンズ）
【国籍】 イギリス
【生年月日】 1981年2月6日生 25歳
【略歴】 スタッフオーフドシア大学卒、2003年8月3日から町の英語指導助手として来町。

ジョーンズさんとお話しましょ

Kobayashi: You look very tired Mr. Jones.
小林：すごく疲れてるみたいね、ジョーンズさん。
Jones: I am a little tired. I've been practicing Kendo a lot recently.
ジョーンズ：ちょっとね。この頃、剣道の練習量が多いから。
K: Oh, yes, I heard that you are going to take your 2nd Dan test.
小林：あー、そういえば2段の試験に挑戦するんですってね。
J: That's right. Of course, I also practice Kendo because it is so useful.
ジョーンズ：そう。もちろん試験のためだけでなく、実際にも役に立つから習ってるんだけど。
K: What kind of things is it useful for?
小林：どういうふうに役立つの？
J: Well, do you remember when I first started practicing that I said that it was useful for fighting bears and bank robbers?
ジョーンズ：剣道の練習を始めた頃、熊や銀行強盗との格闘に役立つからって言ったの覚えてる？
K: I think so.
小林：聞いたけど。
J: Well, I can still do all those things, but now I have even more special powers?
それだけでなく、今や特別な力まで備わったんですよ。
K: Special powers? Wow! Like what?
小林：特別な力って？ どんなの？
J: Well, along with fighting crime and rogue wild animals, I can also fly and occasionally see into the future.
ジョーンズ：それは、悪党や凶暴な野生動物と闘うってだけでなく、飛ぶことだってできるんですから。
K: Really?
小林：マジで？
J: Really!
ジョーンズ：マジで。
K: ...
小林：（絶句）

我が家の人気者

あこやかさん

兼田愛唯ちゃん
愛称：めい（3歳7カ月）

（沢田）一真さん・由紀さんの長女



笑顔がとても可愛いめいちゃんは、とってもおしゃれ好き。保育園に行くときも、ママを真似てお化粧をしたがるそうです。好きな男の子でもできたのかな？歌に踊り、セリフも覚えるほどのセーラームーン好きで、パパとママからの期待も日に日に大きくなっているめいちゃんです。

古文書で見る 軽米の歴史 66

文政四年（一八二〇年）に軽米で
贋金作りが摘発された。贋金は、い
つの時代にも作られてきた。
寛永十三年（一六三六年）六月
に、幕府では銅銭の一文銭と真鍮銭
の四文銭の、二種類の寛永通宝を作
り、日常生活に使用する通貨として
発行した。この通貨を真似て、贋金
が全国に流行した。

のちに一文銭は鉄で作られ、全国
各地の錢座で鑄造され、江戸時代の
代表的な通貨となった。
天明四年（一七八四年）に東北地
方を襲った大飢饉により、一般人の
生活は大打撃を受け、幕府は仙台領
に鉄銭の仙台通宝を五年に限り許可
した。これにより、東北地方には仙
台通宝が出回り、材料鉄が身の回り
にあり鑄物の技術がある軽米では、
贋金を作っている者から錢作りを習
い、二、三人で隠れ錢吹きをした。
鉄を溶かすのは難しいことではな
いので、日常の暮らしに困っている
人々は競って贋金作りをした。贋金
がたくさん出回ったことで通貨の価
値が暴落し、当時一両に八貫文くら
いの両替相場が、十一貫文から十八
貫文にまでなった。
藩では、贋金作りの取り締まりを
厳しくし、逮捕者を打ち首にしたり
牢屋に入れたりした
が、贋金作りは止ま
らなかった。やがて
この贋金は「ずく銭」
と呼ばれ没収され、
正銭だけの通用とな
り、日常通貨はまた
不自由となった。
（町古文書解説会）



軽米町で発掘された鉄銭（町歴史民俗資料館所蔵）

■夢・希望・えんぴつ■

「わんぱくなわらしたち」

山内小学校六年（平）
平彩花



山内小学校は、赤れんがでできて
います。校門から学校が遠いことも
ひとつの特ちょうです。そして、何
よりもみんなが友だちで、仲良く元
気に遊びます。
五年生は元気がよく、雪の階段を
けつすべりしたり、教室で騒いだり
して先生におこられました。
山内小学校は山に囲まれているの
で、外で楽しく遊びます。
夏から秋にかけて、サバイバルゲ

ームという遊びをします。コースは
学校の校舎の周り全体です。最初は
何人かが鬼になります。何秒か待つ
間に他の人がかくれます。かくれて
いる人を探してタッチし、鬼を増や
していきます。全員がつかまって鬼
になつてしまつたら終わりです。
冬には講堂でドッチボールをしま
す。ソフトバレーボールを二個使つ
て相手のチームに投げ、当たつたら
壁にくっついて待ちます。他の誰か
がボールをキャッチするとゲームに
復帰できます。この遊びは男女一緒
に遊べるように男子が考え出しまし
た。男女関係なく運動が好きになり、
仲良く遊んでいます。

今月の俳句

北光吟社二月例会句会

針供養少くなりし針仕事
永井きよの
老いし身の咳やわらげる風呂の湯気
三上千栄女
踏石を沈めて土の凍てにけり
国久黄実
病む友を訪ねし部屋には日脚伸ぶ
千葉紅園
春めくや梅の花芽の動き出す
川島由蔵
枯蔓のもつれ現れたる雪解
松村英子
よもすがら寒さ反りの風荒ぶ
古里裕子
二ん月の日差し明るきりんご園
端川石造
白鳥の互いに鳴いてやがて空
淵沢鉄馬
婚礼の決まりし吾娘と雛納め
中野とき
すれちがふ亡母に似し人雪割草
早川慶子
座禅草芽の出るあたり雪残る
荒沢作郎

お知らせ 情報 Information

県職員の採用試験 申し込みについて

平成18年度の岩手県職員採用試験（Ⅰ～Ⅲ種、警察官A・B）を次のとおり行います。

○Ⅰ種、警察官A

▶受付期間：5月1日(月)から5月31日(水)まで
※インターネットでの申し込みは5月25日(木)まで

▶第1次試験日

▷Ⅰ種………6月25日(日)
▷警察官A…7月9日(日)
▶受験資格：平成18年4月1日現在で21歳以上29歳未満の方

▷Ⅰ種…学歴は問いません
▷警察官A…大学卒など

○Ⅱ種、Ⅲ種、警察官B

▶受付期間：8月1日(火)から



「犬も歩けば」の上の句から、下の句をすばやく探し出す百人一首に夢中になり



今となっては懐かしい「つまこ」を笑顔でつくり



真剣な眼差しでガラス絵彫りを楽しむ子どもたち



いろんな遊びが盛りだくさんのちびっ子ふれあい広場なのでした

歯と口の無料相談 イ歯デーテレホン

県保険医協会歯科部会では、歯とお口に関するお悩みについての無料電話相談を行います。お気軽にご利用ください。

▶実施日：4月18日(火)

▶受付時間：10:00～20:00

※相談への回答は、19:00以降にお電話でお知らせします。

▶相談先：☎019-651-7341

ボイラー技士をめざす 実技講習会を開催

2級ボイラー技士免許の試験資格が得られる実技講習会を、次のとおり開催します。

▶日程（平成18年度上期）

①4月26日～28日

②5月24日～26日

③6月13日～15日

▶時間：9:00～17:00

▶会場：岩手教育会館

▶受講料：18,000円（テキスト代含む）

【問い合わせ先】(社)日本ボイラ協会岩手支部（☎019-624-5139）

県シルバー作品展に 皆さんの作品を募集

県長寿社会振興財団では、第18回シルバー作品展（6月21日～23日）の出展作品を募集しています。作品の中から、優秀作品2点は全国大会展に出品される予定です。

▶出品資格：県内に在住する60歳以上の方の作品

▶部門：日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真

▶会場：盛岡市民文化ホール（盛岡駅西口マリオス内）

▶申込受付：5月26日（金）までに申し込みください。

【問い合わせ先】県長寿社会振興財団（☎019-626-0196）

図書館だより — 今月の新刊 —

【児童書】

「ぼくのスケッチブック」

作：山下奈美 絵：ひろいのりこ



ぼくはスケッチブックに大好きなワニの絵を描いて、ガブリという名前をつけた。すると絵の中のケーキや魚を次々に食べてしまった…

「森の大あくま」

作：二宮由紀子 絵：あべ弘士

深い森の奥に、おそろしい姿をした大あくまが住んでいました。でもこの大あくま、ドジでかわいところもあるのでした。



【一般書】

「2倍熟睡法」

著：井上昌次郎



十分な睡眠時間が確保できない時こそ、睡眠を軽視してはいけません。充実した熟睡を得ると、朝からシャキッと仕事ができます。

「みちのく腑分け始末」

著：小野寺苓

一関藩の藩医・笠原兼時を中心に、新しい時代の医業に取り組む若き医者たちの姿。著者は岩手県在住。



図書館利用案内

開館時間 9:00～18:30
(土、日曜は16:00まで)

貸出 1人5冊まで2週間

休館日 月曜日、月末日、祝祭日

どうぞご利用ください。

軽米地域普及所が4月から二戸地区合同庁舎内へ移転しました

新たに中央農業改良普及センター軽米普及サブセンター（畜産・園芸）が入所しています

◎農業全般（畜産を除く）の相談窓口

二戸農業改良普及センター

〒028-6103 二戸市石切所字荷渡52 県二戸地区合同庁舎内／23-9208／FAX23-9387

◎畜産の相談窓口

中央農業改良普及センター 軽米普及サブセンター

〒028-6222 軽米町大字山内23-9-1県北農業研究所内（旧軽米地域普及所）／47-1075／FAX49-3013

軽米町と九戸村を管轄していた軽米地域普及所の職員と業務は、平成18年4月から二戸農業改良普及センター（二戸地区合同庁舎内）に移転しています。軽米町の皆さんの営農相談は、二戸農業改良普及センターで行っています。

これまでの軽米地域普及所事務所には、新たに中央農業改良普及センター軽米普及サブセンターが入り、主に県北地域の畜産の農業改良普及相談と園芸重要課題に取り組むこととしています。

なお、県北農業研究所はこれまでどおりです。

退職金と税

退職金は通常、所得税と住民税が源泉徴収されます。長年の勤労に対する報償的給与として、退職所得控除や分離課税されるなど税負担の軽減が配慮されています。

●退職所得：退職手当や退職時に一時的に受け取る給与のほか、社

【問い合わせ先】
二戸税務署（☎23-2701）

会保険や生命保険会社などから受け取る退職一時金も含まれます

●源泉徴収と確定申告：20%の所得税が源泉徴収され、確定申告で精算します。支払い前に「退職所得の受給に関する申告書」を提出すれば申告は不要になります

町税の納期限 (5月1日まで)

固定資産税 1期

軽自動車税全期

早めに納付ください

ある日の発見



町防犯協会（横井内留次郎会長）は、二戸警察署軽米駐在所と協力し、町内の金融機関とスーパーなど10箇所に「パトロールボックス」（写真）を提供し、防犯対策に一役買っています。店舗入口などの目に付きやすい場所に設置し、注意を促しながら、実際に警察官がパトロールで立ち寄るなどを行い、強盗や盗難の抑止を狙ったもの。存在感もあり、かなり効果的とまっばらの評判です。

町のこよみ・かるまいカレンダー

4月 April

16	日	春季協会ゲートボール大会【ゲ】 9:00～
17	月	
18	火	ポリオ予防接種【病】 14:00～14:30受付
19	水	1歳6カ月児健診【ふ】 13:00～13:30受付 H16年8月～11月生まれ対象
20	木	あのなっす相談所【老】 10:00～15:00 二戸地区法律相談【二戸市役所】 10:00～15:00（予約 ☎23-3111）
21	金	
22	土	にこにこ広場【軽米保育園】 9:30～11:30
23	日	子ども会育成会ソフトボール大会【ハ】
24	月	
25	火	ポリオ予防接種【病】 14:00～14:30受付
26	水	ピヨピヨ教室【ふ】 10:00～12:00
27	木	あのなっす相談所【老】 10:00～15:00
28	金	ポリオ予防接種【病】 14:00～14:30受付
29	土	【みどりの日】 森と水とチューリップフェスティバル【フ】～5月21日
30	日	

5月 May

1	月	町税の納期（固定資産税1期、軽自動車税全期）
2	火	こころの相談【ふ】 14:00～15:30 【憲法記念日】 森と水とチューリップフェスティバル・イベント開催日【フ】 ハートフル杯中学校サッカー大会【ハ】
3	水	
4	木	【国民の休日】 【こどもの日】 森と水とチューリップフェスティバル・イベント開催日【フ】 林業振興まつり【フ】
5	金	
6	土	大勝杯高校ソフトテニス予選大会・男子【運】
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	乳児健診【ふ】 13:00～13:30受付 H17年6月、9月、12月、H18年2月生まれ対象 全血献血【役場地域整備課車庫前】 10:00～、 【十文字チキンテック】 12:00～、【ふ】 14:30～ ピヨピヨ教室【ふ】 10:00～12:00
11	木	第1回寿大学【公】 10:00～12:00 あのなっす相談所【老】 10:00～15:00
12	金	
13	土	大勝杯高校ソフトテニス予選大会・女子【運】 にこにこ広場【軽米保育園】 9:30～11:30
14	日	森と水とチューリップフェスティバル・イベント開催日【フ】 「森と水とチューリップ」パークゴルフ大会【ハ】
15	月	

（カレンダー中の開催場所については【 】で下記のとおり表示します）

体：町民体育館 環：農村環境改善センター 公：中央公民館 図：町立図書館
病：県立軽米病院 ふ：健康ふれあいセンター フ：雪谷川ダムフォレストパーク・軽米 ミ：ミレットパーク 歴：歴史民俗資料館 ハ：ハートフルスポーツランド 運：町営運動場 ゲ：ゲートボール場 野：高校野球場



発行／岩手県軽米町 編集／総務課
（毎月第2水曜日発行）

〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85
0195-46-2111(代) FAX0195-46-2335
URL <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

冠婚葬祭 2月届出分 ＜敬称略＞

おめでた

緑ヶ丘 下村大和（俊彦）
百鳥 百鳥春菜（安昭）
上新町 駒目姫花（雅彦）
新大島 佐藤孝大（俊孝）
君成田 山根夕佳（武弘）
笹渡 下向珠璃（義也）

おくやみ

小玉川 玉館ヤエ（87歳）
荒町 大清水久三（89歳）
民田山 田澤兼藏（71歳）
下門子 於本福治（80歳）
上組 浅水福次郎（80歳）
屋敷 鎌田芳藏（84歳）
門前 吉田ミワ（92歳）
下尾田 高森石藏（79歳）
門前 福本ヨシ（84歳）
上野場 福田忠一（73歳）
上尾田 中里保久（44歳）

おしあわせに

{ 大崎 歩（上門子）
小林 響子（屋敷）

{ 小林 忠雄（貝喰）
陳 場優美子（二戸市）

●人の動き ＜平成18年2月28日現在／町民生活課調べ＞

男 5,704人（-2）／女 5,871人（-4）

合計 11,575人（-6）／世帯数 3,740（+14）
※（ ）は前月比

転入 19人（32人）／転出 20人（30人）

出生 6人（9人）／死亡 11人（22人）
※（ ）は1月からの累計

ほっとひといき 編集後記

声の広報・朗読研修会に、軽米高の生徒さんとともに参加しました。話し方の癖や、普段、自分では気づかない部分を改めて実感。「伝える気持ち」は、朗読にも、文章にも共通な要素。まずは、正確で分かりやすい原稿づくりをやら

なければ。

人事異動と組織の見直しで、消防・防災・情報が一つのグループに。事務室内で、席がちよっとだけ移動しましたが、引き続き広報かるまいを担当します。これからも、よろしくをお願いします。（鶴飼）